

## 《卷末資料》

寝屋川市池田旭町地区におけるワークショップの様子とシミュレーションの概要



## 寝屋川市池田旭町地区におけるワークショップ

### 寝屋川市池田旭町地区第1回ワークショップ(平成16年12月17日)



①地震・防災に関する  
講演



②新潟中越地震の被災  
状況報告



③GISシミュレーショ  
ンの説明

寝屋川市池田旭町地区第2回ワークショップ(平成17年1月16日)



①まち歩き



②GISシミュレーション  
や「まち歩き」の結果  
にもとに、まちの課題  
を整理。



③各班の発表

寝屋川市池田旭町地区第3回ワークショップ(平成17年2月18日)



①防災マップ・防災  
ルール作成



②各班の発表



③GISシミュレーション  
により、建物不燃化の  
効果を確認。

## 寝屋川市池田旭町地区における 防災まちづくり支援システムの活用

建物構造現況図(池田旭町地区)



建物建築年次区分図(池田旭町地区)



建物階数図(池田旭町地区)





### 道路幅員図(池田旭町地区)

幅員凡例

赤	4m未満
青	4~6m
緑	6~8m
青	8~12m
黄	12m以上



### 延焼シミュレーション(池田旭町地区) 条件①

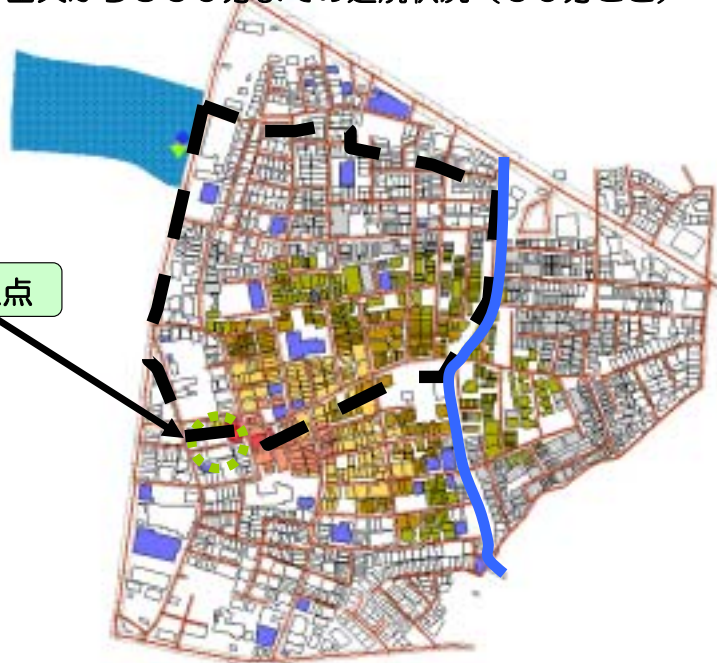
出火から360分までの延焼状況(60分ごと)

西南西の風  
2m/sec

出火点

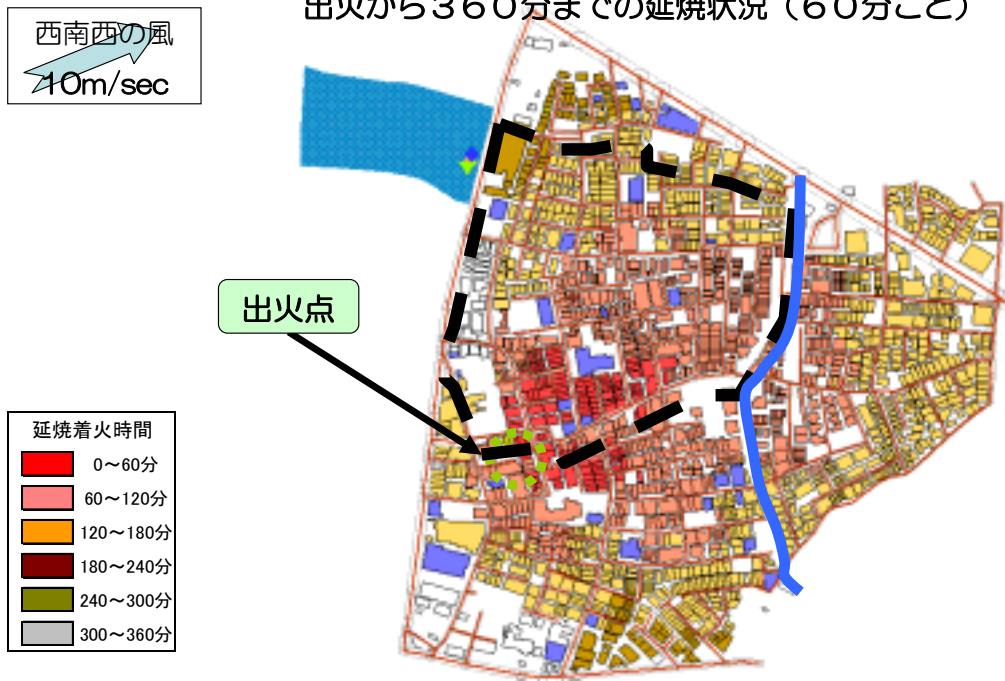
延焼着火時間

赤	0~60分
赤	60~120分
黄	120~180分
赤	180~240分
黄	240~300分
灰	300~360分



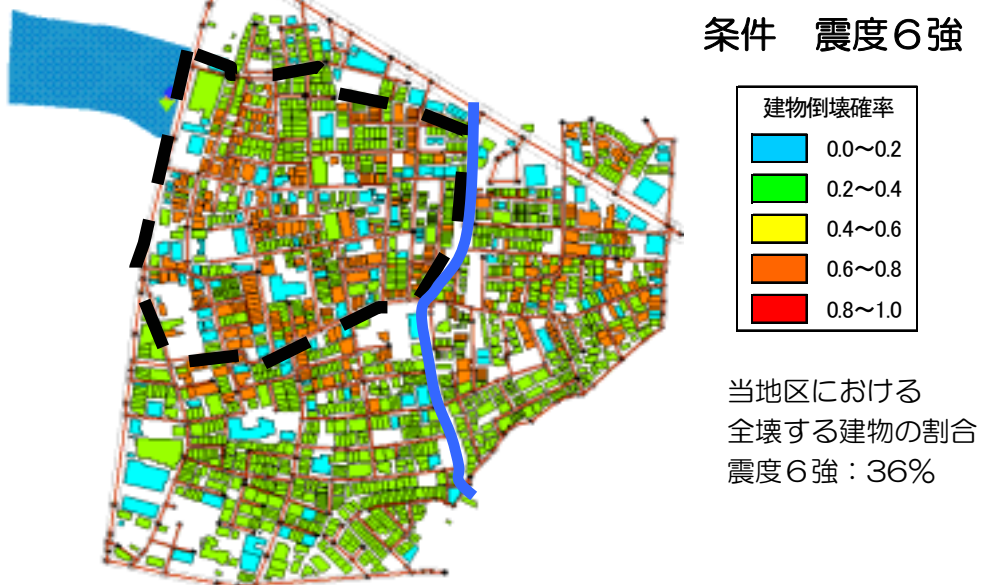
## 延焼シミュレーション(池田旭町地区) 条件②

出火から360分までの延焼状況(60分ごと)



## 建物倒壊確率(池田旭町地区)

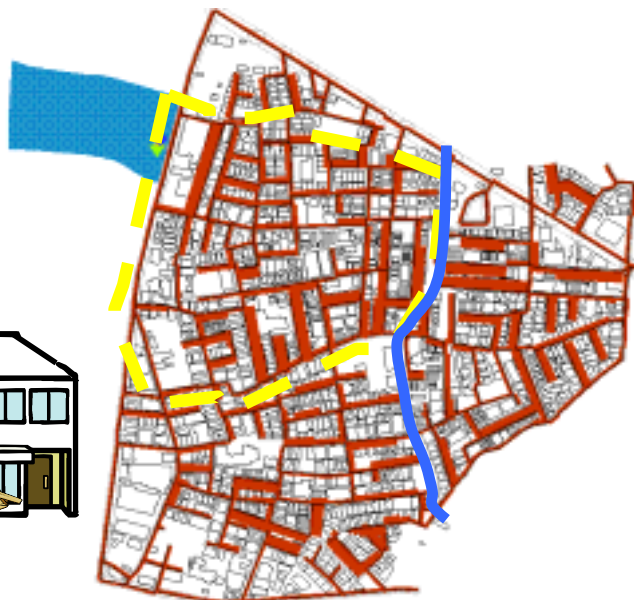
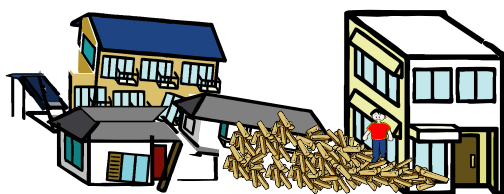
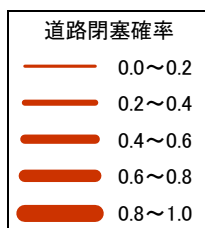
条件 震度6強



- ※青い建物：地震時に全壊してしまう確率が低い建物
- ※赤い建物：地震時に全壊してしまう確率が高い建物

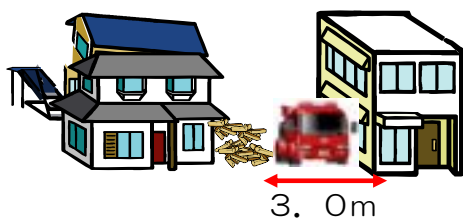
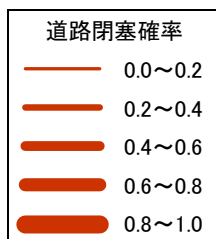


### 道路閉塞確率(池田旭町地区) 徒歩



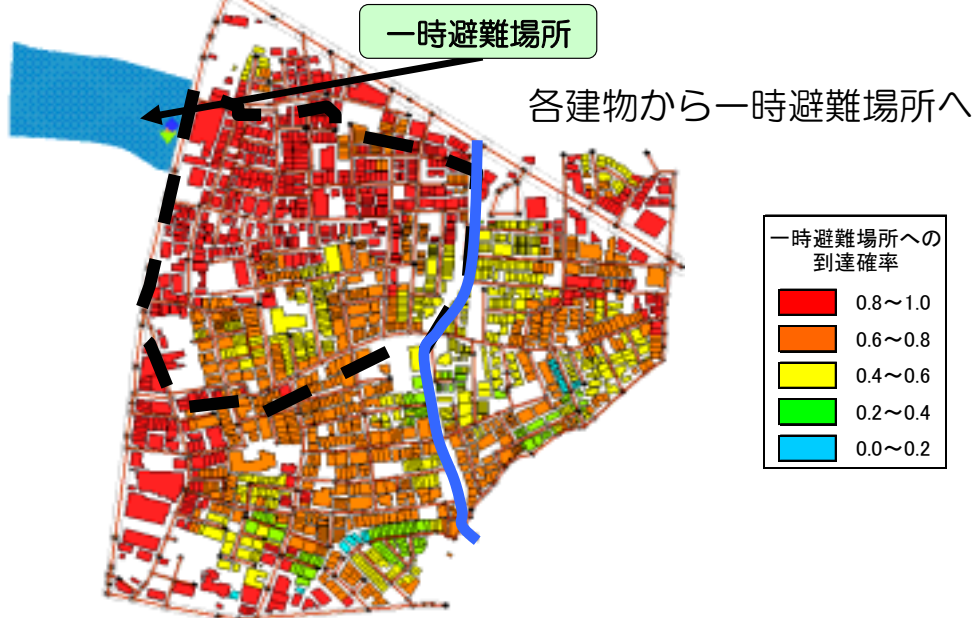
- ※ 線が細い：ガレキが少なく、通れる確率が高い道路
- ※ 線が太い：ガレキが多く、通れる確率が低い道路

### 道路閉塞確率(池田旭町地区) 消防車



- ※ 線が細い：ガレキが少なく、通れる確率が高い道路
- ※ 線が太い：ガレキが多く、通れる確率が低い道路

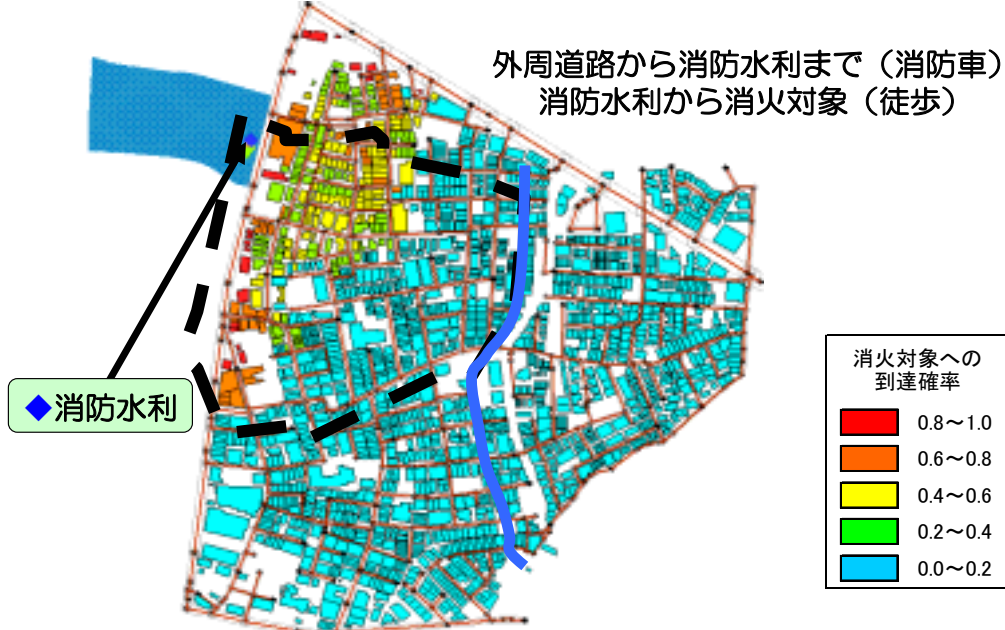
### 一時避難場所への到達困難性(池田旭町地区)



※赤い建物：一時避難場所へたどり着ける確率が高い

※青い建物：一時避難場所へたどり着ける確率が低い

### 消火対象への到達困難性(池田旭町地区)



※赤い建物：消防隊が消火活動ができる確率が高い

※青い建物：消防隊が消火活動ができる確率が低い

## 寝屋川市池田旭町地区における ハード対策のシミュレーション

### 池田旭町の防災性向上のために

ハード対策

ハード対策により、**延焼**を遅延させるためには・・・

木造、防火造の建物を燃えにくい構造の建物  
に建て替える。



どの程度の効果が見られるか、  
延焼シミュレーションを実施

## 池田旭町の防災性向上のために

ハード対策

シミュレーション条件

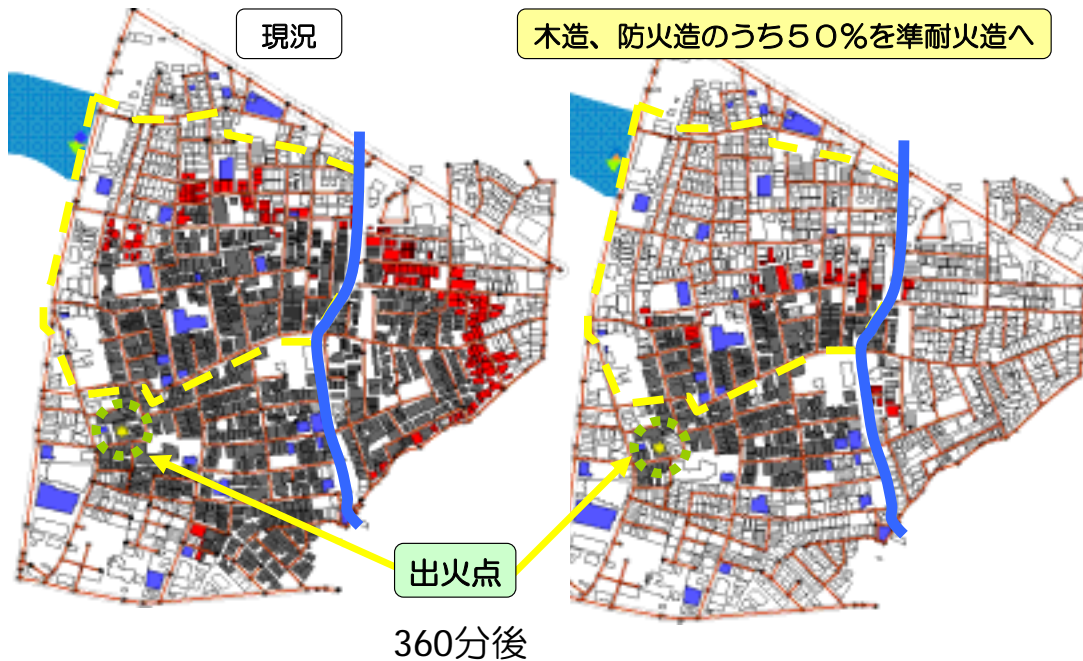
木造、防火造の建物を準耐火造の建物に建て替える。

- ① 地区内の木造、防火造の建物の30%を、準耐火造へ
- ② 地区内の木造、防火造の建物の50%を、準耐火造へ
- ③ 地区内の木造、防火造の建物の80%を、準耐火造へ



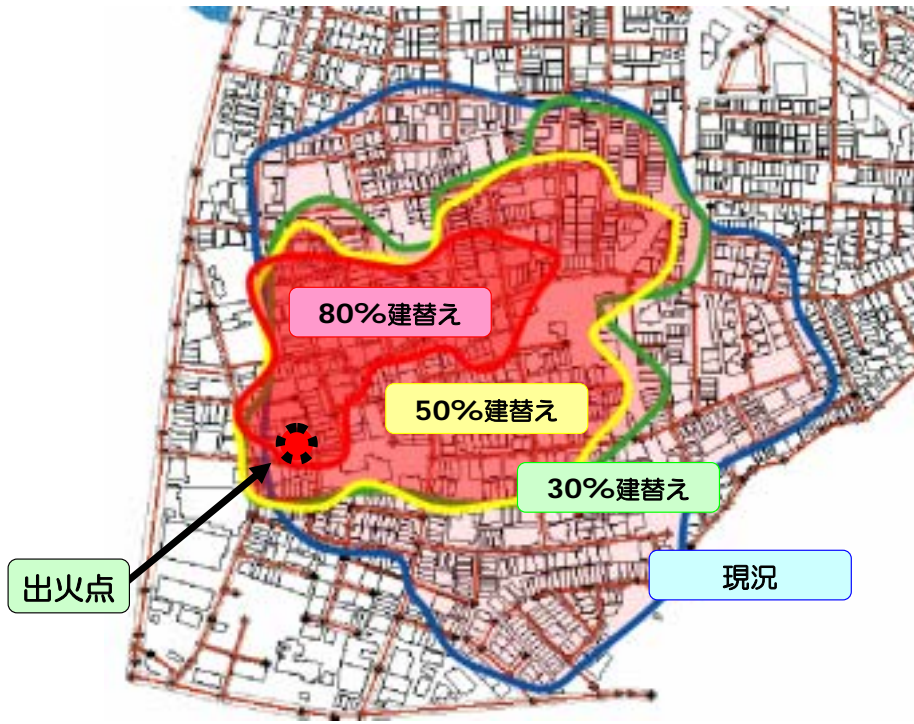
## 延焼シミュレーション

西南西の風  
2m/sec





## 出火 6時間後の延焼範囲



## 池田旭町の防災性向上のために

ハード対策

ハード対策により、**建物倒壊 道路の閉塞** の発生を少なくするには・・・

生活道路（池田旭町と長栄寺町の境界道路）を  
6.7mに拡幅

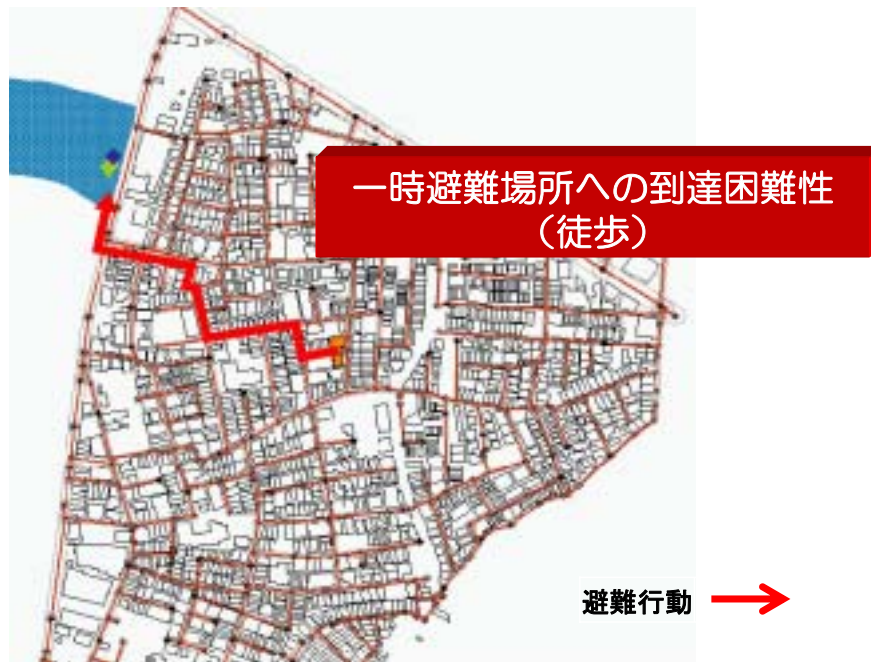
どの程度の効果が見られるか、  
一時避難場所（第二中学校）までの  
避難行動のシミュレーションを実施



## 計画案



## アクティビティシミュレーション

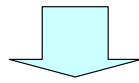


## 道路閉塞確率（徒歩）

現況



主要生活道路を6.7mに拡幅



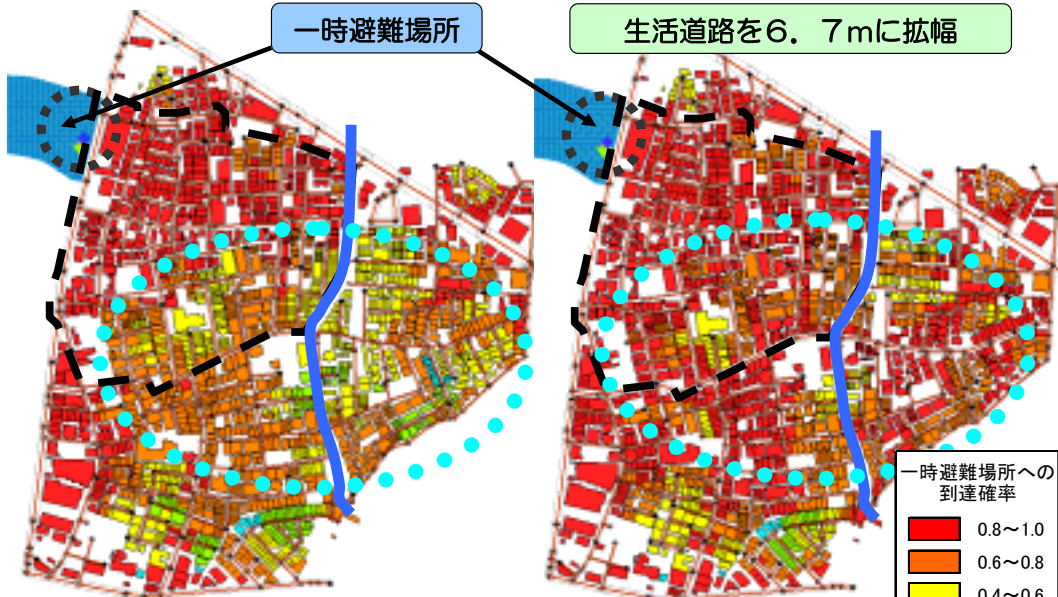
※ — 線が細い：ガレキが少なく、通れる確率が高い道路

※ — 線が太い：ガレキが多く、通れる確率が低い道路

## 各建物から一時避難場所への到達困難性（徒歩）

一時避難場所

生活道路を6.7mに拡幅



※ 赤い建物：一時避難場所へたどり着ける確率が高い

※ 青い建物：一時避難場所へたどり着ける確率が低い